評価点表

大項目	中項目	評価項目
会社の信頼性	会社概要	本事業を遂行する上で信頼に足る企業であるか。
	事業実績	過去5年以内(令和2年4月1日～令和7年5月12日)に同種システム(屋外拡声子局設置を含む)の導入実績が1件以上あり、本事業を遂行する上で十分な知識と技術を有しているか。
提案内容	事業計画スケジュール	本業務の目的に沿ったシステムの構築が円滑かつ適切に実行され、確実な業務の遂行が見込まれるスケジュールとなっているか。
	企画提案資料	企画提案資料が簡潔・明瞭かつ見やすく理解しやすい内容となっているか。
	企画提案説明	企画提案の説明(プレゼンテーション)が提案資料に基づいた理解しやすい内容となっているか。また本業務に対する熱意や意欲を感じ取れるか。
	追加提案	本市の持つ情報伝達手段の現状や問題点を踏まえた本市にとって有益な追加提案内容となっているか。また将来的に情報伝達手段のさらなる多重化を検討する際に、なるべく低コストかつスムーズにシステムの拡充を行えるような提案内容となっているか。
セキュリティ	セキュリティ	使用される回線やシステムは、サイバー攻撃等へのセキュリティ対策がされたものとなっているか？
技術提案システム構成機能	基本機能	既設配信システム(アルカディア社SpeeCAN RAIDEN)との連携について、一度の手動配信操作で屋外拡声子局と既設配信システム登録先(登録制メール、登録制電話情報配信サービス)への一斉情報配信が可能な連携方法が採用されているか？
		自動起動IF、ソケット通信IF、HTTP通信もしくはメール送信による連携方式でJ-ALERTとの連携放送が可能か。
		親局主要機器の停電補償対策はとられているか。
		現環境や省スペース化に配慮された提案となっているか。
		システムの操作画面は、見やすく操作しやすい画面構成となっているか。
		親局から全ての子局に対し、音声合成または肉声での放送が可能か。
技術提案システム構成機能	追加機能 (仕様書記載内容以外で期待する機能)	<親局>
		親局から離れた場所でも、スマートフォンやタブレット等から同報系放送の配信操作を行えるか。
		<拡声子局>
		①停電時バッテリー補償時間が72時間以上であるか。(5分放送55分休止)
		②長寿命バッテリー(期待寿命11～13年)であるか。
		③自局放送(現地拡声子局から自局マイク放送)
④オートリセットブレーカー(停電復電後自動的にブレーカーがONになる装置)が採用されているか。		
保守	保守体制	平日9:00～17:00(もしくは24時間365日)の間に受付可能な有人のコールセンターを有しているか。(社外委託可)
	緊急時対応	平日9:00～17:00の間に対応可能な障害受付(保守専用窓口)を有しているか。(社外委託可)
価格	イニシャルコスト(初期費用)	本市の要求水準を満たしたうえで、整備に係る全体コストが上限額140,000,000円(消費税等込)を超えない金額で提案されているか。
	ランニングコスト(保守運用費用)	本市の要求水準を満たしたうえで、運用開始後10年間のランニングコストが適正な価格で提案されているか。(10年間の部品交換費用+1回分の保守点検費用+10年間の運用費用)
	見積詳細内訳	イニシャルコスト、ランニングコストともに見積額の詳細内訳について具体的に示された提案内容となっているか。